

ジンコソーラーはメキシコのプロジェクトに 35.46 MW モジュールを供給したと発表した。

2017 年 8 月 10 日、世界をリードする太陽光パネルメーカーのジンコソーラーホールディングス株式会社(“ジンコソーラー”)(NYSE:JKS)は、再生可能エネルギー建設事業を手掛ける企業 Gransolar 社がメキシコでの太陽光発電プロジェクトに 35.46 MW モジュールを供給したと発表した。

該当プロジェクトがチワワ州で一番大きな太陽光発電所で、プロジェクトの建設が完成し、2017 年 4 月 6 日から運営を開始した。

「Gransolar はこのプロジェクトでジンコソーラー製のモジュールを使うことを大変喜んでいますが、これからの協力も期待しています。」と Gransolar のプロジェクトマネージャ Francisco Torrecillas がコメントした。

ジンコソーラーのマーケティングと営業の副総裁 Gener 苗は「再び Gransolar と提携できて、大変嬉しいです。ジンコソーラーは Gransolar との協力によりラテンアメリカでの業務をいっそう増強しました。弊社はこれからも引き続き、当地のクライアントに高品質の製品を提供します。」とコメントした。

ジンコソーラー (**JinkoSolar Holding Co.,Ltd.**) について

ジンコソーラー (NYSE: JKS) は太陽光発電産業のグローバルリーダーです。ジンコソーラーは中国、米国、日本、ドイツ、英国、チリ、南アフリカ、インド、メキシコ、ブラジル、アラブ首長国連邦 (UAE) 、イタリア、スペイン、フランス、ベルギー、その他の諸国?地域にあるさまざまな公益、商業、居住区顧客基盤に対し、自社ソーラー製品を供給し、自社ソリューションとサービスを提供、販売。ジンコソーラーは 2017 年 3 月 31 日時点で、垂直統合ソーラー製品バリューチェーンを構築して、シリコンインゴットとウエハーで 5GW、太陽電池で 4GW、太陽光発電モジュールで 6.5GW の年間総発電容量がある。

ジンコソーラーは中国 (5) 、マレーシア、ポルトガル、南アフリカに 8 つの生産施設、中国 (2) 、イギリス、ブルガリア、ギリシャ、ルーマニア、アラブ首長国連邦は、ヨルダン、サウジアラビア、クウェート、エジプト、モロッコ、ガーナ、ケニア、コスタリカ、コロンビア、ブラジルとメキシ

コに 18 の世界販売オフィス、日本（2） 、シンガポール、インド、トルコ、ドイツ、イタリア、スイス、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、チリ、オーストラリアや南アフリカに 15 の海外子会社を持ち、従業員計 1 万 5000 人以上を雇用しております。

〒104-0031

東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号京橋エドグラン 9 階

代表電話：03-6262-6009

FAX：03-6262-3339

ホームページ：<http://www.jinkosolar.com/index.html?lan=jp>